

EDMを作る

もくじ

1. シンセサイザーの基礎知識
2. オシレーター
3. フィルター
4. エンベロープ
5. モジュレーション ～基礎～
6. モジュレーション ～応用～
7. シンセの構造
8. ベース
9. ブラック
10. リード
11. パッド
- 12. シーケンス**
13. キック
14. スネア
15. ハイハット
16. リズムループ
17. アレンジ

『シーケンス』

1. シーケンスについて
2. シーケンスの役割
3. シーケンスの使用例を聴いてみよう
4. シーケンスの音作り
5. まとめ

1. シーケンスについて

シーケンス (sequence) とは、パターンを繰り返し演奏する音色、またはパートのこと。シーケンスには2種類に分類する事ができます。

アルペジオ (Arpeggio)

【特徴】

指定されたノートを順番に一音ずつ演奏していく。

【音色的な特徴】

基本は単音で演奏する事が多いので、モノシンセが使われることが多い。部分的に和音にする場合などもあり、その場合はポリシンセを使用する。

パルス (Pulse)

【特徴】

指定されたノート (和音の場合が多い) を一定のリズムパターンで演奏する。

【音色的な特徴】

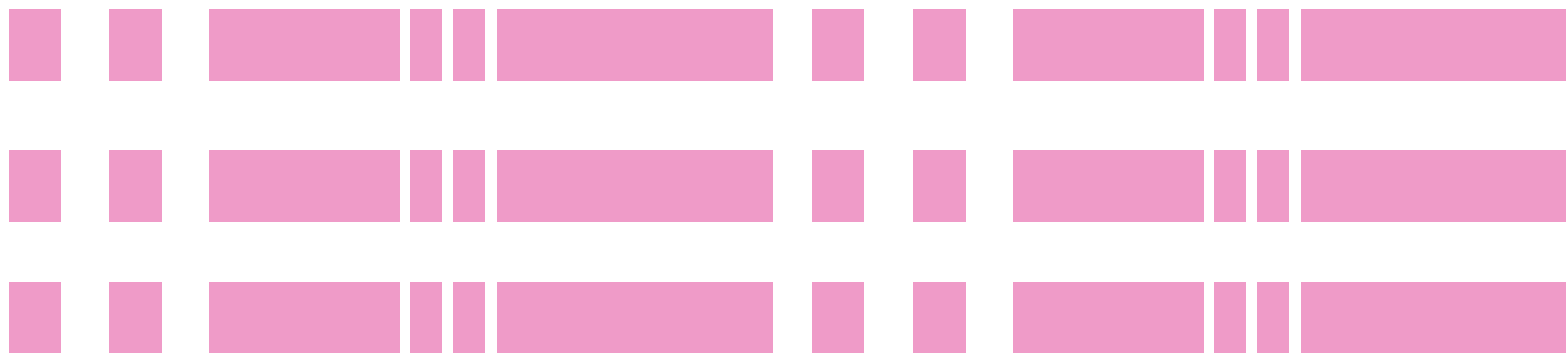
主に和音を演奏するためポリシンセを使うことが多いです。

アルペジオとパルスの違い

① アルペジオ系シーケンス



② パルス系シーケンス



2. シーケンスの役割

シーケンスの役割は装飾として使います。

音楽の基本構成要素であるメロディー、コード、リズムは、それぞれリード、ブラック、ドラムなどで出来上がっているため、これ以上基本要素を盛り込まなくても音楽として成立します。

ですが、シーケンスはそれらの基本要素だけでは補いきれない部分を装飾することで華やかさやスピード感など、表現の幅を広げる事ができます。

譜例：様々なシーケンスの用法

① アルペジオ系



② 所々のアクセント
に使用するルペジオ系



③ パルス系



3. シーケンスの使用例を聴いてみよう

Zedd, Elley Duhé - Happy Now (Official Music Video)

<https://youtu.be/KfXvjxbRhZk>

DROELOE - zZz (Official Audio)

<https://youtu.be/cQFUlqzc4PA>

San Holo - Fly [Official Audio]

<https://youtu.be/MYwFW-bFZTo>

4. シーケンスの音作り

シーケンスの音作りで、特に決まった形はありません。ブラック系の音色でも良いし、減衰がないリード系の音色を使っても良いでしょう。何かをサンプリングしても良いし、ギターを弾いてサンプリングしても面白いでしょう。

アルペジオ系の場合、ブラックの時のようにディレイをかけることによって複雑で面白い形になることもあるので色々実験してみましょう。

おすすめセッティング (アルペジオ用 ベル①)

今回はベル(Bell)系の音色にしてみようと思います。

[SUB]は[サイン波]を選択し、1オクターブ下にする。

[OSC A]も[サイン波]を選択します。

[OSC B]は[三角波]を選択します。

各パラメータの設定は画像を参考にしてください。

アンプリチュードエンベロープとして[ENV 1]をこのように設定します。

The image shows the Serum synthesizer interface with several callouts providing specific settings:

- ENV 1:** A callout shows the envelope graph with parameters: 0.5 ms (ATTACK), 0.0 ms (HOLD), 6.3 ms (DECAY), 0.00% (SUSTAIN), 15 ms (RELEASE).
- ENV 2:** A callout shows the envelope graph with parameters: 0.5 ms (ATTACK), 0.0 ms (HOLD), 959 ms (DECAY), 0.00% (SUSTAIN), 3.26 s (RELEASE).
- OSC A:** A callout points to the Basic Shapes section, indicating a sine wave selection.
- OSC B:** A callout points to the Basic Shapes section, indicating a triangle wave selection.
- FILTER:** A callout points to the CUTOFF knob, indicating a filter envelope.

[ENV 3]を使って[OSC A]の[CRS]にピッチエンベロープをかけます。これはアタックを強調させたかったので入れています。

約30くらい。

[ENV 2]を使って[FILTER]の[CUTOFF]にフィルターベロープをかけます。

おすすめセッティング (アルペジオ用 ベル②)

『ベル①』だけだと高音が足りていないので別のトラックを立ち上げて、『ベル②』の音色をレイヤーします。

[OSC A]は[サイン波]を選択します。

[OSC B]は[パルス波]を選択し、1オクターブ上に上げています。

各パラメータの設定は画像を参考にしてください。

[ENV 1]の各パラメータの設定は画像を参考にしてください。

The image shows the Serum synthesizer interface with several callouts. At the top, an inset shows the ENV 2 envelope settings: ATTACK 0.0 ms, HOLD 0.0 ms, DECAY 5.2 ms, SUSTAIN 0.00%, and RELEASE 0.6 ms. A blue callout box next to it says: "アタック強化のため[ENV 2]を各オシレーターに[CRS]にかけます。共に約40かけています。" Below this, a small image shows the CRS parameter set to 40. In the center, two oscillator windows are shown. OSC A is set to a sine wave (サイン波) and OSC B is set to a pulse wave (パルス波) with its octave set to +1. A blue callout box on the left explains these settings. At the bottom, the ENV 1 envelope settings are shown: ATTACK 0.0 ms, HOLD 0.0 ms, DECAY 450 ms, SUSTAIN -73.8 dB, and RELEASE 517 ms. A blue callout box on the left explains these settings. The main interface also shows the filter section (MG Low 12) and various modulation and velocity parameters.

5. まとめ

曲を華やかにするシーケンス。曲を作っているとどうしても単調になりがちですが、シーケンスで装飾する事で楽曲が生き生きとしてきます。

特に決まりなどはないので、いろいろな曲を参考にするなど、研究を続け、自分なりの音楽をつくりだしていきましょう。

宿題①

Serumでそれぞれの音色を作成し、『譜例：様々なシーケンスの用法』の①～③を全て打ち込んでくる。（余力があれば『アルペジオ用 ベル②』の音色を作成しアルペジオの譜例にレイヤーする）

宿題②

譜例にあった『アルペジオ系』『所々のアクセントに使用する』『パルス系』の3パターンをそれぞれオリジナルで作成する。（オリジナルの音色でも良い）

ルール

1. 配布したリズムトラックに合わせて打ち込むこと。
2. 提出はシーケンスのパートのみでよい。
3. 限界までクオリティーにこだわること。
4. 提出の際はmp3で書き出し、フォルダに入れてzipに圧縮すること。
5. ファイル名は全て英語で「edm-kadai_12-1_sugimoto.mp3」のようにつける。
6. [ギガファイル便](#)などのストレージサービスを利用してアップロードし、ダウンロードリンクをメッセージかE-mailで送ってください。